



高槻ロータリークラブ  
2016~2017  
WEEKLY BULLETIN

**四つのテスト**

I. 真実かどうか  
II. みんなに公平か  
III. 好意と友情を深めるか  
IV. みんなの為になるかどうか

**事務所** オーロラモール高槻西武6階 〒569-1116 高槻市白梅町4-1  
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174  
E-mail [takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp](mailto:takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp)

**例会日** 毎週水曜日 12:30~13:30  
**例会場** オーロラモール高槻西武6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

**創立** 1954年6月15日  
**会長** 藤井敏雄 **幹事** 入谷治夫 **クラブ運営委員長** 小阪大輔 **会報担当副委員長** 山室匡史

No.13 2016年10月12日 発行

10月は経済と地域社会の発展月間 / 米山月間

第3046回 本日(10/12)の例会

- ◎ソング...四つのテスト
- ◎外部卓話  
スピーカー  
高槻商工会議所 会頭  
(公社)高槻市観光協会 代表理事  
金田 忠行 様  
テーマ「高槻の活性化を目指して」

第3047回 次週(10/19)の例会

- ◎ソング...我等の生業
- ◎卓話 スピーカー...古川 大介君

※ 10/26(水)は2人3脚例会

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
51名	39名	86.96%
前々回例会補正後出席率		91.30%
但し、Mup 1名		欠席者 4名
出席規定適用免除有資格者		5名

ロータリー財団表彰

- 第5回 マルチプルポールハリスフェロー  
岩井 祐造 君
- 第1回 マルチプルポールハリスフェロー  
河合 一人 君

先週(10/5)の例会から

- ◎ゲスト・ビジター 計 3名  
国際ロータリー第2660地区  
2016-17年度 ガバナー 松本進也様(大阪北RC)  
国際ロータリー第2660地区  
2016-17年度 地区幹事 黒田勝彦様(大阪北RC)  
本田 孔士様 眼科医 (大阪RC)

◎会長の時間

「米山奨学会」

10月は、経済と地域社会の発展/米山月間ですので本日のテーマは「米山奨学会」です。

3か月が経ちましたので、ニコニコ等寄付金の四半期集計をしてもらいました。ニコニコは年間250万円の目標に沿った線で頂いています。例年10~12月には下がる傾向にありますので、それが無ければ目標達成できますので、引き続きよろしく願いいたします。財団は好調で、このまま推移すれば、一人当たり200\$を達成できそうです。問題は米山です。昨年より上向っていますが、年間一人当たり10,000円を達成できるかどうかのレベルです。

先週、米山奨学会の決算報告書が届きました。内容を見ますと、総資産は85億円です。かなりのものだと思います。寄付金15.7億円で、利子収入7千

万円となっています。事業費を寄付金相当額とし、管理費は利息収入で賄われており、極めて健全な運営がなされています。寄付金は、この10年15億円前後で変わりません。その結果支給者は1,000名から800名、そして700名にまで減らしておられます。

私は、米山奨学会も、ロータリー財団のように変化してゆかねばならないと思います。先日のクラブフォーラムでガバナー補佐を交えて熱い議論となりました。一つの国に偏るのは問題なので、地区としてもその改革を進めておられるとの事でした。そこで、選考要領を読みますと、1国からは何%以下にして欲しいとか、どんな学部の学生さんとか、指定校にいろんな要望をすることができる事になっています。

米山が盛り上がらないのは、我々クラブサイドにも問題があったと思います。寄付金を出すのですから、その使われ方や要望も含めて関心を持ち、発言する必要があります。また、奨学生を受け入れた時のカウンセリングをしっかりすれば、親日家になってくれるでしょう。イム・ウンスさんは、その良い例です。

いろいろあると思いますが、米山奨学会は世間に誇れる制度であることには同意いただけると思います。今後は、ともに改善に取り組むこととして、今月の米山月間よろしくご寄付をお願いいたします。

### ◎幹事報告

- ・高槻東 RC、吹田西 RC よりクラブ概況報告書が届いております。後方テーブルに置いてありますので、ご覧ください。
- ・吹田西 RC よりクラブ役職者変更のお知らせが届いております。会長エレクトが澁谷様から荻田様に、副会長が荻田様から大藤様に変更になりました。
- ・12月の地区大会ですが、現在のところ27名のご出席をいただいております。しかしながら、もう少しクラブからの出席を募りたいと思いますので、特に入会の浅い方はご都合をつけていただいて出席くださいますようお願いいたします。
- ・10月20日(木)事務局は、臨時のお休みとさせていただきます。

### ◎委員会報告

○クラブ研修委員会 清水 利男

第2回会情報集会を下記の日程で開催致しますので、多数のご参加をよろしくお祈りいたします。

日時：2016年11月16日(水)例会終了後

例会：12:30~13:30

情報集会：13:40~14:30

会場：例会場

内容：①片山美智子会員による

「RCにおける自分が思う職業奉仕とは」

②各テーブルにて会員各自の同テーマにおける考え方を意見交換し発表していただきます。

③各テーブルのリーダーは会員の発表をメモして研修委員会に提出していただきます。

※14:30には終了いたしますので、多くのご参加をいただきますようお願いいたします。

○青少年奉仕委員会 内本 繁

IACの活動報告をさせていただきます。

10月1日、2日に高槻中学高等学校の文化祭が開催され朝倉会員とともに行きまわりまして、その時の様子を纏めた資料を、本日皆様のポケットに入れております。

文化祭では、IACの活動内容を展示しておりました。また来年も展示すると思いますので、お時間が許すようであれば皆様も足を運んでいただければと思います。併せて、セブ島へ海外研修に行った生徒から、高槻RCの皆様へということでお土産のお菓子を預かりました。各テーブルにお配りしておりますので、どうぞ召し上がってください。

### ◎卓話

国際ロータリー第2660地区

2016-17年度 松本 進也 ガバナー

<2016-17年度 RI 会長テーマ

及び第2660地区ガバナー方針>

【2016-17年度 RI 会長方針】

それでは、国際協議会でRI会長によるRI会長テーマの説明の4分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

(RI 会長講演映像「*アインシュタイン*」 4分間)

改めまして、2016-17年度RI会長テーマは、“*Rotary Serving Humanity*”-人類に奉仕するロータリー- であり、これは、『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう。』という意味であります。

また、国際協議会で強調されたことが3点あります。

第一に、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年にあたることでした。

第二に、2018年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことであります。当方も全てを具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

【本会議場看板】

この国際協議会の本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来“Enter to learn, Go forth to serve”「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS,

TAKE ACTION”となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

【記憶により残る方法】

2008年の会長エレクトセミナー時に戸田パストガバナーから「記憶に留めるより良い方法」として「聞いただけでは20%、見ただけでは30%の理解が、見て聞いた結果は50%になる」と講義を受けました。ご講義の中で「知識や概念を出来るだけ多く記憶に留まるよう助長するために、情報の提供方法を考慮しなければ

ばならない」という教えが大変印象的でありましたので、当方も今後、補助手段として紙媒体を使用いたします。本日の内容は、貴クラブの活動計画書や週報にてご覧頂きますようお願いいたします。

**【2016-17 年度 第 2660 地区ガバナー方針】**

さて、先程申しました RI 会長テーマを受け、第 2660 地区 2016-17 年度ガバナー方針を **“The Ideal of service”-ロータリーの根幹精神-**と定めました。当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されています。

1920 年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、‘The Ideal of service’の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service”の本来の意味と合致しないからです。日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

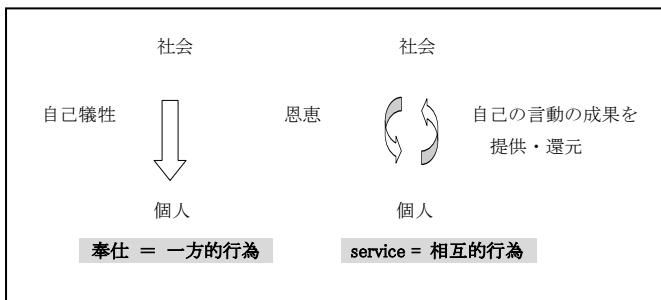
この「奉仕」と“service”の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

**\*奉仕 = 一方的行為**

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

**\*service = 相互的行為**

矢印は個人と社会を循環しています。個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。

**【2016-17 年度 第 2660 地区具体的目標】**

2016-17 年度の第 2660 地区における具体的目標を次の 5 項目と定めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団 100 周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM 再編成

**1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践**

この基本理念を第 2660 地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

**2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進**

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第 2660 地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。この移行には三つの利点があります。第一に IT 化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、年度からはネット環境が

ある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

**3. ロータリー財団 100 周年のお祝い、ポリオ撲滅**

今年度はロータリー財団創立 100 周年の記念すべき年であり、RI は我々へ「100 周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RI と共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのことです。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたいと思えます。

また、RI 会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。国際協議会で RI 会長によるポリオについての 5 分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

**( RI 会長講演映像「ポリオ」 5 分間 )**

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2 番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

**4. ロータリー戦略計画の推進**

今年度も引続き、戦略計画を強く推進します。戦略計画の三本柱は 1) クラブの活性化とサポート

2) 人道的奉仕の重点化と増加

3) 公共イメージと認知度の向上です。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の 5 つの観点を中心としています。先程の 3 本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは 3 人の方が選抜されました。まず、横山 PG はロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。次に、高島 PG はロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第 2 項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RI は戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

**5. IM 再編成**

昨年 12 月 5 日の地区大会決議第 8 号にて「IM の在り方を決議する件」が採決され、2018-19 年度の山本 G 年度を目処に、時代にあった IM 再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山 G 年度に継承できるように尽力いたします。両案は 9 月 24 日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

**【2016-17 年度の年次寄付等年間目標】**

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように定めました。

- |            |                 |        |
|------------|-----------------|--------|
| 1. 年次寄付    | 1 名あたり \$160    |        |
| 2. ポリオ撲滅   | 1 名あたり \$60     | 計\$220 |
| 3. ベネファクター | 各クラブ 1 名        |        |
| 4. 米山奨学金   | 1 名あたり 30,000 円 |        |
| 5. 会員増強    | 1 クラブ純増 2 名     |        |

まず、年次寄付を 1 名あたり \$160、ポリオ撲滅に 1 名あたり \$60 の 計\$220 とさせて頂きます。これは、ロータリー財団 100 周年の記念すべき年にあたり、RI 会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、ベネファクターを各クラブ 1 名 といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。通常の増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成して頂きたく存じます。

#### 【2016年規定審議会】

2016年4月10日-15日 シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。しかし、ロータリーの目的の第3項であり、当方のガバナー方針でもある“*The Ideal of service*”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おき頂きたく存じます。また、斉藤RI理事より、本年の11月30日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出すと承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

#### 【我々の最終到達点】

また、RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。先人が築き上げられたこの伝統ある第2660地区を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3650人が「チーム2660」として一丸となり、日本34地区を牽引する地区となることを願います。

#### 【地区大会PR映像】

それでは最後に12/9-10に行われます、地区大会のPR映像をご覧くださいますが、このPR映像に、当方から一言付け加えさせて頂きます。地区大会で祝能を披露頂く、能楽師である当クラブの大槻文蔵会員が7/15、人間国宝に認定されました。このPR映像作成後に認定の一報が入りましたので、僭越ながら申し添えさせて頂きました。それでは5分程度となりますので、ご覧ください。

(地区大会PR映像 5分40秒)

以上を持ちまして、公式訪問の卓話とさせて頂きます。最後になりましたが、貴クラブの更なるご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

以上

◎例会後の行事 10月度 定例理事会

### 第4回理事会議事録

開催日 2016年10月6日(水) 13:45~14:30  
(於 例会場)

出席者 藤井・入谷・伊藤・朝倉・清水・片山・浜田・小阪・小山・石田・馬淵(内本代理)・河合・長山 オブザーバー：井前  
欠席：松尾 (敬称略)

議事 議長は藤井会長にて議事進行  
前回議事録承認 <異議なく承認されました>

#### 議案①会計報告

河合会計：資料に基づき説明有

議長：ニコニコ等は順調に推移していると思う。米山奨学が少ないと感じる、いろいろ賛否があるのは承知しているが、一段の協力を願いたい。

<異議なく承認されました>

#### 議案②例会スケジュールの件

議長：確認事項として10月19日外部卓話濱田市長が所要のため、古川会員の卓話に変更

小坂：クリスマス家族例会は今年インターコンチネンタルにて開催します。会費は会員2万円、家族1万5千円、子供(小学生以下)は5千円に致したい。

<異議なく承認されました>

#### 議案③ガバナー補佐推薦の件

議長：地区へガバナー補佐を高槻RCから推薦することになった。ガバナー補佐にふさわしい経験と見識を持つ会員を推薦しなければならない。補佐職はたくさんのクラブを訪問するなど体力も求められる。会長経験者の方にも相談したが、今回は松尾会員を推薦したい、本人にも内諾を得ている。ぜひクラブ一丸として支えていただきたい。

<異議なく承認されました>

#### 議案④二人三脚例会の件

伊藤：10月26日の例会を二人三脚例会としている。例会にて当日の同伴者の回覧を回しているが、参加者が少ない。あまり無理強いもできないのも悩みどころ。

議長：会員の純増はクラブ皆で取り組まなければいけない。次週例会後時などに、今一度委員長のほうで二人三脚例会の対応を協議する会を持っていただき、ぜひとも会員の増大に努めていただきたい。

伊藤：対応会を持ちたいと思います。

#### 議案⑤規定審議会報告書の件

議長：規定審議会については、細則の変更を田淵会員に検討してもらうことにする。

<異議なく承認されました>

#### 議案⑥：新年3RC合同例会の件

議長：新年恒例の3RC合同例会。今回の当番は高槻RCが幹事となっている。山水館にて開催したい。

小阪：来年1月11日に開催予定。例年80~90名前後の参加となっている。交通手段の問題があるが、山水館にて40名と26名乗りの送迎バス、直接山水館(かじか荘の駐車場)へ行く方などを想定し、支障のないようにしたい。今後高槻西・高槻東と相談して進めていきたい。

※当日のプログラムとして、鏡開きで乾杯、正月の歌斉唱中止、ソングリーダーの指名などが話題となった

<異議なく承認されました>

#### 議案⑦指名委員会設置の件

議長：指名委員会を設置いたしたい。細則の定めるところにより11月の第1例会にて設置の承認を取る。

<異議なく承認されました>

#### 報告事項

① ブキビンタンRC訪問の件

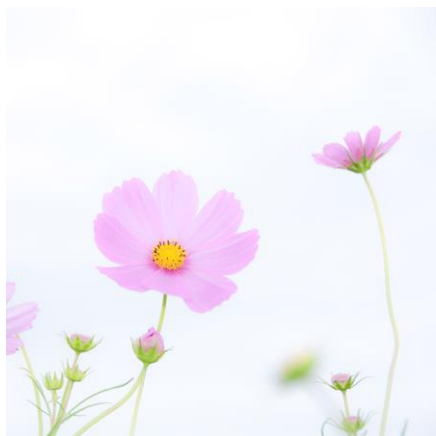
②入谷幹事より高槻市菊花協会への協賛金の件

・毎年1万円支出しているが本年度はとりやめたい  
→理事から関係者に諮り慎重に対応してはという  
意見有

→幹事が関係者に聞き取り、問題なくば本年度中止  
とする(幹事一任)。

③入谷幹事よりアトランタ国際大会の件

来年6月開催の「アトランタ国際大会」へ当クラブ  
として参加すべく、プランを旅行社に作成させ、会  
員に参加を募る(幹事と国際奉仕委員長で)。



◎ニコニコ箱報告

- ・結婚記念内祝 朝倉君、坂野君、羽根田君、石田君  
河合君、小山君、  
西澤君 (いつもありがとうございます。)  
上村君 (結婚祝…  
どうもありがとうございました)
- ・入会記念内祝 伊藤君 (松本ガバナー、本日はお越しいた  
きましてありがとうございます)
- ・創業記念内祝 深野君、浜田君、本多君、稲富君  
石田君 (ありがとうございます)
- ・松本ガバナー公式訪問ありがとうございました。黒田  
地区幹事よろしくお願ひします。 朝倉君
- ・松本ガバナーのご訪問に感謝して。 藤井君
- ・松本ガバナー、高槻RCへのご訪問ありがとうございます。 入谷君
- ・川面様、鮎をおいしく食べさせて頂きました。あり  
がとうございました。 石田君

---

本日の合計 ￥ 95,000-  
7/1よりの累計 ￥ 749,000-

◎R財団への寄付

- 羽根田茂子君 ￥5,000- 入谷 治夫君 ￥5,000-
- 伊藤 智秋君 ￥5,000- 片山美智子君 ￥5,000-
- 河合 一人君 ￥5,000-

---

本日の合計 ￥ 25,000-  
7/1よりの累計 ￥ 280,000-  
一人当たり平均 \$56.02

◎米山奨学会への寄付

- 藤井 敏雄君 ￥5,000- 片山美智子君 ￥5,000-

---

本日の合計 ￥ 10,000-  
7/1よりの累計 ￥ 192,500-  
〔 会員より ￥ 70,000- 〕  
〔 クラブより ￥ 122,500- 〕  
一人当たり平均 ￥3,929-